

**商業科学習指導案**  
**単元名（題材名）「財務会計Ⅰ（純資産）」**

令和5年10月 第2学年 指導者 高山 駿

## I 単元の構想

### 1 単元観

財務会計は、1年次で履修した「簿記」の学習を基盤として、会計処理を適正に行って企業の社会的責任を果たす視点を持ち、会計処理を行う場面を想定し、会計処理や財務諸表の作成と分析に取り組む実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、適切な会計情報の提供と効果的な活用について、組織の一員としての役割を果たすことができるようにすることをねらいとした科目である。

本単元では、純資産の意味を理解するとともに、適切な会計処理を学び、貸借対照表を作成できるようにする。また、純資産は株主からの出資金や企業の利益などから得られた資金であり、第三者への返済義務がない自己資本とも呼ばれており、企業の安定性を把握する上で重要な項目となっているため、生徒自ら整理・分析し、表現することで、会計処理についての理論と実務を関連付けさせて、会計情報の効果的な活用に責任をもって取り組む態度を養うことにもつながる単元である。

### 2 研究との関わり

「唯一絶対の答えがないことの多い経済社会にあって、財務会計をはじめとした様々な知識、技術などを活用し、企業会計に関する法規と基準及び、会計処理の方法の妥当性と実務に適用することに伴う課題を見出すとともに、会計情報が社会に及ぼす影響を踏まえ、財務会計に関する理論、企業活動の流れなど科学的な根拠に基づいて工夫してよりよく課題に対応する力及び財務指標を組み合わせて企業の実態を総合的に分析する力を養うこと」〈学習指導要領第12節 財務会計Ⅰ 目標の(2)〉がねらいとなっている財務会計において、研究主題を研究することにより、財務会計を学習し得た知識と技術を活用して、生徒たちが自ら考え、自らの言葉で発信することで答えのないことが多い経済社会に柔軟に対応する力を身に付けることができると考え、この題材とした。

### 3 単元の目標及び生徒の実態

	目 標	生徒の実態
知識及び技術	・純資産の意味と各項目の内容をおおむね理解し、適切な会計処理を行うことができる。	・純資産については1年次の「簿記」で学習した内容であるが、より深く分類することは初めてである。
思考力、判断力、表現力等	・純資産の会計処理の妥当性、実務における課題を発見し、課題への対応策を考察できる。	・1年次の「簿記」で大まかな純資産の分類を学習しているが、本単元ではより細かい分類やその会計処理の妥当性などに触れることは初めてである。
学びに向かう力、人間性等	・純資産の意味と各項目の内容について、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。	・純資産が企業にとってどんな意味を持っているのか分からず、それに対して興味を持てる生徒と興味をもてない生徒に分かれている。

### 4 評価規準

知識・技術	・純資産の意味と各項目の内容を理解し、適切な会計処理を行うことができる。
思考・判断・表現	・純資産の会計処理の妥当性、実務における課題を発見し、課題への対応策を考察することができる。
主体的に学習に取り組む態度	・純資産の意味と各項目の内容について、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

5 指導及び評価、ICT 活用の計画（全9時間：本時第8時）

過程	時間	<p>■ねらい</p> <p>□学習活動</p> <p>★ICT活用に関する事項</p>	知	思	態	<p>◆評価項目&lt;方法（観点）&gt;</p> <p>○指導に生かす評価</p> <p>●評定に用いる評価</p>
であ う	1	<p>■純資産の意味と分類について理解させるとともに、資本金の増加・減少を実務に即して理解させる。</p> <p>□教科書・プリント・問題集を活用し、資本金の増加・減少に関する取引を仕訳する。</p>	○			<p>◆純資産に関する基本的な仕組みを理解し、取引を仕訳することができる。</p> <p>&lt;プリント・問題集（知）&gt;</p>
	2	<p>■資本剰余金に関する取引について実務に即して理解させる。</p> <p>□教科書・プリント・問題集を活用し、資本剰余金に関する基本的な取引を仕訳する。</p>	○			
	3	<p>■利益剰余金に関する取引について実務に即して理解させる。</p> <p>□教科書・プリント・問題集を活用し、利益剰余金に関する基本的な取引を仕訳する。</p>	○			
	4	<p>■自己株式に関する取引について実務に即して理解させる。</p> <p>□教科書・プリント・問題集を活用し、自己株式に関する基本的な取引を仕訳する。</p>	○			
	5	<p>■新株予約権に関する取引について実務に即して理解させる。</p> <p>□教科書・プリント・問題集を活用し、自己株式に関する基本的な取引を仕訳する。</p>	○			
	6	<p>■純資産の取引を読み解き、会計処理をするために、適切な仕訳ができる。</p> <p>□演習用プリントで取引を仕訳する。</p>	●			<p>◆純資産の取引を読み解き、適切な会計処理をするために、演習問題を仕訳することができる。&lt;演習用プリント（知）&gt;</p>
追 求 す る	7	<p>■自己株式に関する会計処理の妥当性を知り、実務における課題などを協働学習によって考え、表現する。</p> <p>□グループでプレゼンテーションソフトを活用し、現在の知識を整理・共有する（★）。</p> <p>□教科書・プリント・タブレット端末を活用し、調べ学習を行う。（★）</p> <p>□グループでプレゼンテーションソフトを活用し、整理・まとめを1枚のスライドに作成する。（★）</p> <p>□別グループに対して、整理・まとめた1枚のスライドを活用し、ミニ授業を行い、相互評価を行う。（★）</p>		●		<p>◆自己株式の会計処理の妥当性を知り、実務における課題などを考え、生徒たちの言葉で表現することができる。</p> <p>&lt;ワークシート・リフレクションシート（思）&gt;</p>

8 本時	<p>[本時のめあて・課題・見通し等]</p> <p>新株予約権の会計処理の方法の妥当性、実務における課題を考え表現しよう。</p> <p>■新株予約権に関する会計処理の妥当性を知り、実務における課題などを協働学習によって考え、表現する。</p> <p>□グループでプレゼンテーションソフトを活用し、現在の知識を整理・共有する。(★)</p> <p>□教科書・プリント・タブレット端末を活用し、調べ学習を行う。(★)</p> <p>□グループでプレゼンテーションソフトを活用し、整理・まとめを1枚のスライドに作成する。(★)</p> <p>□別グループに対して、整理・まとめた1枚のスライドを活用し、ミニ授業を行い、相互評価を行う。(★)</p>				<p>●</p> <p>◆新株予約権の会計処理の妥当性を知り、実務における課題などを考え、自らの言葉で表現することができる。</p> <p>&lt;リフレクションシート(思)&gt;</p> <p>○</p> <p>○</p>
まとめ	<p>9</p> <p>■貸借対照表(一部)を完成させ、純資産が経営状況に与える影響を考える。</p> <p>□プリントを活用し、基礎的な問題を処理する。</p> <p>□問題集を活用し、身に付けた既習内容を活用し、学習内容を定着させる。</p> <p>□純資産の金額によって、経営状況に与える影響を各自考え、自らの言葉で表現する。</p>	○		○	<p>◆純資産に関する取引を仕訳し、貸借対照表(一部)を完成させることができる。</p> <p>&lt;プリント・問題集(知)(態)&gt;</p>

## II 第8時の学習

1 ねらい 純資産の既習内容を活用し、新株予約権の会計処理と妥当性、実務における課題をミニ授業と協働学習を通して整理し、根拠をもって表現する。

### 2 展開

主な学習活動 予想される児童(生徒)の反応〔S〕 ★ICT活用に関する事項	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目(観点)
1 本時の内容とめあてをつかむ。  S : 教科書やプリントを見直し、既習内容を再確認し、頷いている。  2 リフレクションシートQ1とQ2(授業開始前の理解度と授業開始時の自信度)を入力する。  (導入2分) S : リフレクションシートを入力している。	○既習内容を振り返り、本時の協働学習ができるよう説明する。  ○リフレクションシートを送信しないよう、注意を促す。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>〈めあて・課題・見通し等〉 新株予約権の会計処理の妥当性、実務における課題を考え表現しよう。</p> </div>	
3 既習内容から新株予約権の発行理由や会計処理、分からないことなど内容に関するどんなことでも、グループで共有する(★)。  (展開①3分) S : 「分からない」を共有できている。  S : 分かっていることを表現しようとしている。	◎プレゼンテーションソフトを活用した協働学習  ○生徒全員の言葉をプレゼンテーションソフトに反映できるよう、「分からない」ことが恥ずかしいことではないことや間違いではないことをしっかりと伝える。
4 グループの共有内容から、更に教科書・プリントや調べ学習から内容の整理を1枚のスライドで行う。  (展開②10分) S : 分からないことがあれば、教科書やプリント、調べ学習を通じて理解しようと努力している。  S : グループの生徒に分からないことを質問している(コミュニケーションを図ろうとしている)。  S : グループの生徒と話し合いをしながら作業している。  S : 既習内容を振り返りながら、協働学習している。	◎プレゼンテーションソフトを活用した協働学習  ○グループで話し合い、協力的かつ効率的に進められるよう時間を明確に伝える。  ○整理用の1枚スライドについては、枠を用意して効率よく整理させる。  ○調べ学習については、教科書・プリントやインターネットなどを活用させるが、自分の言葉で表現できるように指導する。  ○新株予約権は発行者側と株主側の考え方があることを伝え、基本的には発行者側について学習させる。また、両者をまとめる場合には色分けをするなどの工夫をするよう指導する。
5 展開②で整理した内容を使用しながら、1枚のスライドに各グループで自由に表現していく。また、スライドが完成したグループは代表者1名がチャットアプリを活用して、別グループに「終了」の知らせを行う。  (展開③20分)	◎プレゼンテーションソフトを活用した協働学習  ○各グループが自由な表現を行えるよう、枠を用意せずにまとめさせる。

<p>S : 整理した内容を読み返している。</p> <p>S : どのように進めれば良いか困っているが、グループに参加しようとしている。</p> <p>S : グループで方向性や意見を集約しながら、1枚のスライドを完成させようとしている。</p> <p>S : 様々なソフトウェアを活用して図解を作成している。</p> <p>S : チャットアプリと表計算ソフトを用意している。</p> <p>S : チャットアプリを見ながら終了しているグループを見つけようとしている。</p>	<p>○自分たちの言葉で表現できるよう指導する。</p> <p>○各グループの進捗度が違うため、最終の終了時間を明確に伝える。</p> <p>○終了次第、チャットアプリで各グループに報告を行わせる（代表者1名がチャットに書き込みを行う）。</p> <p>○表計算ソフトを用意させる。</p>
<p>6 各グループのスライドが完成次第、チャットアプリを活用して、スライドを完成したグループ同士（先着順）で組み合わせを行い、半分の2名が別グループにてミニ授業を行う。また、相互評価を行う。 (展開④10分)</p> <p>S : 様々な表現方法（言葉）から自分の既習内容を整理できている。</p> <p>S : ミニ授業者2名に対して質問している。</p> <p>S : 授業開始時よりも既習内容の理解度が増している。</p> <p>S : 相互評価を行い、各個人が評価を見て、自己分析している。</p> <p>S : ミニ授業は緊張したが、他者へ教えることで理解度が深まるとともに、称賛されて嬉しい。</p>	<p>◎少人数グループによるミニ授業の実施</p> <p>○各グループで、ミニ授業の組み合わせを行わせ、それぞれ先着順にミニ授業を行わせる。</p> <p>○グループの組み合わせが分からなくならないよう、表計算ソフトを活用し、リアルタイムで表示する。</p> <p>○各グループのミニ授業を、しっかりと傾聴させ、知識の再確認と整理を行う。</p> <p>○表計算ソフトによる相互評価を必ず行うよう指導する。</p> <p>○生徒を称賛する。</p> <p>○ミニ授業が早く終わったグループには、まずリフレクションシートを実施するよう伝える。</p>
<p>7 本時を振り返り、次時への見通しをもつ。また、リフレクションシートをする。 (終末5分)</p> <p>S : 本時開始時と終了時で学習内容の理解度が増した。</p> <p>S : グループの生徒と協力して活動することができた。</p> <p>S : 他者に教えられたことによる嬉しさと教えることが難しいことに対する共感を得ることができた。</p>	<p>○リフレクションシートが終わったグループについては、各グループが作成したスライドを参照させ、今後の学習に生かせるよう指導する。</p> <p>○各グループが一つの課題に対して、解決に向けてコミュニケーションを図りながら活動することができ、一つの成果物を作成できたことを称賛する。</p> <p>○授業後にリフレクションシートを行わせる。 (アンケート作成ソフトを使用)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◆評価項目</p> <p>学習活動から生徒自ら考え根拠をもって、生徒たちの言葉で表現している。 &lt;アンケート作成ソフト（思①）&gt;</p> </div>

### 3 板書計画

#### 協働学習用ワークシート（プレゼンテーションソフト）

## 協働学習

1 班

本時の課題：新株予約権の会計処理の方法と妥当性、実務における課題はなに？  
※「わからない」ことや現在の自分の知識をどんなことでも表現しよう！

学習しが忘れた

株を予約できる

授業中は理解できたが、今は曖昧だ

わからない

取引の処理はできる（仕訳）

純資産の勘定科目

本時の課題を整理していく！

- ◆新株予約権とは？  
この権利をもつ者（新株予約権者）が、新株予約権の発行会社に対してその権利を行使することにより、あらかじめ定められた価額で株式の交付を受けることができる権利をいう。（授業プリント）
- ◆会計処理の方法の妥当性は？  
発行時の処理、権利行使時の処理、権利失効時の処理に分けられる。  
発行時には、資本金に組み入れず、権利が行使されたときに資本金に組み入れる。
- ◆新株予約権のメリットはある？  
・大型買収を抑制する  
・株式数の増加による1株の価値の希薄化を抑制  
・行使期間内であれば、権利を行使するかしないか選択できる
- ◆実務における課題（デメリット）は？  
・権利が行使されるかどうかかわからず、資金調達を計画的に行えない  
・行使期間中に行使価額よりも株価が下がっている可能性がある

整理したことを自分たちの言葉で、1枚のスライドに表現する！  
※最後に生徒によるミニ授業です。

Q. 新株予約権とは？  
あらかじめ決められた金額や条件で株式を取得できる権利のこと

◆メリット  
行使期間内であれば、権利を行使するかしないか選択できる。  
などなど

会計処理の方法 → 1. 発行時の処理  
2. 権利行使時の処理  
3. 権利失効時の処理

会計処理の妥当性 → 発行時には、資本金にせず、権利行使時に資本金に組み入れる。また、権利失効時には、特別利益である「新株予約権戻入益」に振り替える。

■実務上の課題（デメリット）  
権利が行使されるかどうかかわからず、資金調達を計画的に行えない。  
行使期間中に行使価額よりも株価が下がっている可能性がある。  
などなど

#### 授業後リフレクションシート（Google フォーム）

#### リフレクションシート

授業終了後に必ず回答してください。

出席番号（半角）2300\*

記述式テキスト（短文回答）

名前\*

記述式テキスト（短文回答）

何班ですか？\*

記述式テキスト（短文回答）

授業名\*

- 財務会計Ⅰ
- 原簿計算
- ソフトウェア活用

...

協働学習やミニ授業を用いることで、わかることが増えましたか？\*

	1	2	3	4	
変わらない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	増えた

今回の授業において、わからなかったことについて、どのようなことがわかるようになりましたか？  
または、わかっていことが更にわかるようになったことや更に追求したいと思うことがありましたか？  
自分の言葉で表現しましょう。  
例：自己株式は、企業側にとって、資金を減少させて取得するためマイナスとなることがわかった。

記述式テキスト（長文回答）

今回の授業のねらいである新株予約権のメリット、デメリット（課題）でわかったことを表現しましょう。

記述式テキスト（長文回答）

上記で選択した授業において、現在の内容について授業開始前の段階での理解度はどのくらい？\*

	1	2	3	4	
わからない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	よくわかっていった

上記で選択した授業の授業開始時の自分の学習に対する自信はどのくらい？\*

	1	2	3	4	
自信がない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	自信を持っていた

授業終了後の自分の理解度はどのくらい？\*

	1	2	3	4	
わからない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	よくわかった

授業終了後の自分の学習に対する自信はどのくらい？\*

	1	2	3	4	
自信がない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	自信を持てた

自己評価項目\*

A：よくできた B：できた C：多少できた D：できなかった —：評価対象外

	A	B	C	D	—
授業の「ねら...	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
適宜、情報を...	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
今日の学びを...	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>